

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公表番号】特表2019-531576(P2019-531576A)

【公表日】令和1年10月31日(2019.10.31)

【年通号数】公開・登録公報2019-044

【出願番号】特願2019-509466(P2019-509466)

【国際特許分類】

H 01 T 13/20 (2006.01)

H 01 T 19/04 (2006.01)

F 02 P 13/00 (2006.01)

【F I】

H 01 T 13/20 B

H 01 T 13/20 E

H 01 T 19/04

F 02 P 13/00 301 J

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月11日(2020.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線周波電場を放出して、燃料・空気混合物をイオン化し、コロナ放電を提供するためのコロナ点火器であって、

導電性材料で形成され、高い無線周波電圧を受信して前記無線周波電場を放出するための中心電極と、

電気絶縁材料で形成され、前記中心電極を取り囲み、中心軸に沿って絶縁体上端から絶縁体ノーズ端部まで長手方向に延在する絶縁体とを備え、

前記絶縁体は、前記絶縁体上端から前記絶縁体ノーズ端部まで延在する絶縁体外表面を含み、

前記絶縁体外表面は、前記中心軸に対して垂直に前記中心軸を横切って延在する絶縁体外径を提供し、

前記絶縁体は、絶縁体本体領域と絶縁体ノーズ領域とを含み、

前記絶縁体外表面は、前記中心軸から離れて外向きに延在する下方レッジを前記絶縁体本体領域と前記絶縁体ノーズ領域との間に含み、

前記下方レッジは、前記絶縁体外径の増大を示し、

前記コロナ点火器はさらに、

導電性構成要素を備え、前記導電性構成要素は、前記絶縁体ノーズ領域が前記導電性構成要素よりも外側に延在するように前記絶縁体本体領域の少なくとも一部を取り囲み、

前記導電性構成要素は、前記絶縁体本体領域の少なくとも一部を取り囲み、シェル上端からシェル点火端部まで延在するシェルを含み、

前記シェルは、前記中心軸の方に面し、前記絶縁体外表面に沿って前記シェル上端から前記シェル点火端部まで延在するシェル内面を提供し、

前記導電性構成要素は、導電性材料で形成され、前記絶縁体本体領域の一部を取り囲み、中間上端から中間点火端部まで長手方向に延在する中間部分を含み、

前記中間部分は、前記中心軸の方に面し、前記絶縁体外面に沿って前記中間上端から前記中間点火端部まで長手方向に延在する中間内面を含み、

前記中間内面は、前記中心軸に対して垂直に前記中心軸を横切って延在する導電内径を提供し、

前記導電内径は、前記下方レッジと前記絶縁体ノーズ端部との間に位置する前記絶縁体の一部に沿った前記絶縁体外径未満であり、

前記中間部分は、前記絶縁体上端と前記下方レッジとの間に配設され、

前記中間部分は、金属の層である、コロナ点火器。